

# 第36号

2013. 4. 20

日本歯科技工士連盟機関紙

# れんめい

発行 日本歯科技工士連盟  
 東京都新宿区市谷左内町21-5  
 歯科技工士会館内

発行人 三 国 努

編集 日本歯科技工士連盟



▲ 2013年度第1回評議員会

## 次期参議院議員選挙比例代表選出議員選挙に 石井みどり氏の推薦決定!

日本歯科技工士連盟(会長 古橋博美)は、去る三月十六日(土)午後一時十五分より歯科技工士会館(東京・市ヶ谷)において二〇一三年度第一回評議員会を開催した。冒頭、古橋会長から、会計年度を政治資金収支報告書の届出に合わせるため、第一回の評議員会となった旨、通常の活動報告、会計収支決算報告承認のほか、第二十三回参議院議員通常選挙比例代表選出議員候補者の推薦決定を議決いただく評議員会である旨の説明があった。その後、議案の審議に入り、時間の関係上、第三号議案・第二十三回参議院議員通常選挙比例代表選出議員候補者推薦決定の件が先議され、石井みどり候補を推薦することが決定された。次いで高木幹正日本歯科医師連盟会長、石井みどり候補者に御挨拶をいただいた後、第一号議案・二〇一二年度活動一般報告、第二号議案・二〇一二年度会計収支決算の承認を求め、可決承認された。

二〇一二年度第一回評議員会(富山)に報告した。黒田文彦議長(富山)に報告した。秋山佳弘副議長(徳島)の氏名点呼から始まり、これを受けて議長は、日本歯科技工士連盟規約第五十八名の出席を確認し、二十六条に基づき、二〇一三年度の議案、議長一任となり、三団体連盟懇談会を定期的に行う旨の経過説明があり、当連盟は、第二十三回参議院議員通常選挙比例代表選出議員候補者として石井みどり参議院議員を推薦したい旨の提案が行われた。

議長は、ここで質疑応答に入る旨を議長に告げ、評議員の質問を受け付けたが、直ちに採決に入った結果、満場一致で石井みどり候補の推薦が決定された。

議長は、ここで質疑応答に入る旨を議長に告げ、評議員の質問を受け付けたが、直ちに採決に入った結果、満場一致で石井みどり候補の推薦が決定された。

議長は、ここで質疑応答に入る旨を議長に告げ、評議員の質問を受け付けたが、直ちに採決に入った結果、満場一致で石井みどり候補の推薦が決定された。

議長は、ここで質疑応答に入る旨を議長に告げ、評議員の質問を受け付けたが、直ちに採決に入った結果、満場一致で石井みどり候補の推薦が決定された。

議長は、ここで質疑応答に入る旨を議長に告げ、評議員の質問を受け付けたが、直ちに採決に入った結果、満場一致で石井みどり候補の推薦が決定された。

議長は、ここで質疑応答に入る旨を議長に告げ、評議員の質問を受け付けたが、直ちに採決に入った結果、満場一致で石井みどり候補の推薦が決定された。

議長は、ここで質疑応答に入る旨を議長に告げ、評議員の質問を受け付けたが、直ちに採決に入った結果、満場一致で石井みどり候補の推薦が決定された。

議長は、ここで質疑応答に入る旨を議長に告げ、評議員の質問を受け付けたが、直ちに採決に入った結果、満場一致で石井みどり候補の推薦が決定された。

議長は、ここで質疑応答に入る旨を議長に告げ、評議員の質問を受け付けたが、直ちに採決に入った結果、満場一致で石井みどり候補の推薦が決定された。

議長は、ここで質疑応答に入る旨を議長に告げ、評議員の質問を受け付けたが、直ちに採決に入った結果、満場一致で石井みどり候補の推薦が決定された。



### 古橋会長挨拶要旨

評議員会開催にあたり、ひとこと御挨拶を申し上げます。本日は、二〇一三年度の第一回評議員会でございます。この決算評議員会は、今までは年度第二回目の評議員会と位置づけられて参りました。皆さんのご要望で、選挙管理委員を重ねてきました。この夏の参議院選挙に日技連盟として推薦する候補者を、本日皆様方に議決いただきます。諸般の事情で時間の関係上、先ず、第三号議案第二十三回参議院議員通常選挙比例代表選出議員候補者推薦決定の件からご審議いただき、議決をいただいた後、第一号議案、第二号議案と進めていきたいと存じます。本日の評議員会が歴史に残るすばらしい評議員会になるよう期待して、御挨拶にかえたいと存じます。本日はよろしくお願いたします。

議長は、ここで質疑応答に入る旨を議長に告げ、評議員の質問を受け付けたが、直ちに採決に入った結果、満場一致で石井みどり候補の推薦が決定された。

# 質疑応答 要旨

## 【第一号・二号議案関係】

「菌冠修復及び欠損補綴における製作技工・製作管理に関する主な診療報酬点数表」は、連盟で作成して、連盟で配付したと捉えて宜しいか。



答 公益社団法人日本歯科技工士の事業を日本歯科技工士連盟が補完する。そのような意味合いで事業報告に記載した。

問 日技連盟機関紙の発行は、ニチギデータセンターに外部委託しているのか。あるいは他に委託しているものがあるのか。

答 連盟機関紙の発行については、日本歯科技工士連盟の事業として連盟が原稿を作成し、連盟が発行している。発送についてはニチギデータセンターを使用している。

問 時局対策積立金の目的は何か。

答 目的を決めず、幅広い選択肢の中で使用できるように積み立てておくことが趣旨である。



問 ニチギデータに出資している金額は、政治資金収支報告書に記載されているのか。

答 出資金については収支報告書に記載し、届出をしている。

問 参議院議員選挙に備えて、都道府県技連盟に活動資金を交付して欲しい。

答 政治団体間での寄附は認められているので、寄附金の中から活動資金を捻出していきたい。



問 被災された県の技工士の財政が厳しいと聞いている。日技連盟として、何か手を差し伸べられないか。

答 皆さんの義援金を被災地の歯科技工士会と被災された方々にお渡しした。引き続き一杯やっつけていかなければならないことだと考えている。被災された県の歯科技工士に対する公的補助についても、再三陳情をしている。

問 会費徴収に関し、今は三ヶ月に一度であるが、二ヶ月に一度にできないか。

答 基本は三ヶ月に一度の引き落としになっている。どうしてもというなら、できないことはないが、その都度振替手数料が発生するので、そこさえ会員の方々に了承していただければ、できないことはない。

# 石井みどり候補者 決意表明

本日、第二十三回参議院選挙の候補者として決意を賜りました。心より御礼申し上げます。

参議院議員選挙に備えて、都道府県技連盟に活動資金を交付して欲しい。政治団体間での寄附は認められているので、寄附金の中から活動資金を捻出していきたい。

被災された県の技工士の財政が厳しいと聞いている。日技連盟として、何か手を差し伸べられないか。



皆さん、歯科技工士は国家資格でありながら、歯科技工士の試験は都道府県で行われている状況であり、全国統一試験とはなっていません。それに係る歯科技工士法の改正に関しましては、会期の関係で、現在開催されている通常国会での上程と

いづれにしましても、歯科技工士の方々が直面している諸懸案については、歯科界全体が向き合い、力を合わせて一丸となって解決に向け取り組んでいき、少しでも前に向かって乗り越えて、豊かな歯科医療の世界を取り戻していきたいと思っています。

これまで五年八ヶ月の間、歯科界の代表として、皆様の代表として国政の場で働かせて頂きました。このままでは、歯科界が於かれています立場を改善することは難しいと思っております。私に与えられた使命は真に重く厳しいものですが、少しでも前に向かって進めるために、どうしてももう一期、皆様の代表として働かせて頂きたいと願っています。

ご紹介を賜りました日本歯科医師連盟の高木でござい。井みどりの推薦ということでお時間を頂戴しまして、

# 高木幹正 日本歯科医師連盟会長挨拶要旨

ご紹介を賜りました日本歯科医師連盟の高木でござい。井みどりの推薦ということでお時間を頂戴しまして、

# 決意表明

自民党が再度政権の座に就きました。そして昨年八月には三党合意という形で社会保障と税の一体改革が成立いたしました。そのような状況の中で、今、安倍政権は経済の再生成長を第一優先政策として、いわゆるアベノミクス、金融緩和、機動的財政の出動、さらには成長戦略といった形で政策を打ち出しております。

とりわけ成長戦略の中で、我々医療関係者は非常に心配していることがございます。経済財政諮問会議が復活しております。もう一つは産業競争力会議というものが、医療産業に関して推進していくというものが入っております。そして三つの規制改革会議です。これは混合診療を初め、いろいろな我々に関係することが話し合われております。

加えて、昨日、TPPへの交渉参加を安倍総理が表明されました。これに関しても、先般、安倍総理のところにお邪魔したとき夫だというお話がございました。ただ私は、このTPPというのはアジア太平洋地域の経済圏の自由貿易の地域だけでなく、安全保障問題だけでなく、安全保障という面が入っていると思っております。そうするとアメリカのまさに戦略的なものがここに入って来ている中で、ダイレクトには医療保険制度には入ってこないだろう。ただ間接的に、民間保険や企業が医療保険に参画してくる。それから混合診療ですね。じわりと影響してくる。そしてそれがアリの一穴になりはしないかということ、私は非常に懸念しております。医療界にとっては非常に不安定な時期でございます。そういう時期の中で、歯科界はどうか。歯科界

はご承知のように環境が非かと思っております。そういった意味でも、今回二期目を目指す石井みどりでございます。先ほど全会一致でご推薦をさせていただきました。本場にありますが、私には、先日の総選挙は、決して自民党に追い風が吹いたとは思っておりません。そして二期目の選挙は厳しいともよく言われております。何とか歯科界の環境を取り戻さなければいけない。いろいろな問題がありますが、やはり環境が改善しないことには、それらは解決していかないと思っております。そのような矢先の参議院選挙でございます。

今回は歯科三団体、歯科技工士の皆様、あるいは歯科衛生士会の皆様を含めて政策協定というものを果たしていかないと、やはり政治が安定しないと、どうしても国際的な地位も低下してきます。今は一国で全てが収まるような時代ではない。グローバル化の中で世界的情勢、経済情勢も含めたものが非常に影響する時代の中で、政治が不安定であるというものは物事が前に進んでいかないと、三・二一から乗り越えた中でも、ようど二年経過した中でも、現場の復旧復興は遅々として進んでいない。これも少なからず決めた影響が大きいのではないかと

うのは、これからの歯科医療は、個々にいろいろなことを仕掛けてもなかなか具現化できない。それならば中でのしっかり共通認識を持つ、意思統一をしていろいろな政策の具現化に取り組んでいこうじゃないかという趣旨で、石井議員とは政策協定を結ばせていただきました。何とかこの難局を私どもは一致団結して乗り越えられないと、なかなか打破できません。そういった意味で、皆様方の絶大な御支援を賜って、石井を前回よりもいい結果で送り出したいと思いますと思っております。それが歯科界に大きな力となると確信しておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございます。

古橋会長初め皆様方に心から感謝を申し上げます。また、平素から連盟の政治活動に対してご理解とご協力を賜っておりますことを、厚く御礼申し上げます。

さて、先生方もご案内のように、昨年の総選挙で、



はご承知のように環境が非かと思っております。そういった意味でも、今回二期目を

今回は歯科三団体、歯科技工士の皆様、あるいは歯科衛生士会の皆様を含めて政策協定というものを果たしていかないと、やはり政治が安定しないと、どうしても国際的な地位も低下してきます。今は一

国で全てが収まるような時代ではない。グローバル化の中で世界的情勢、経済情勢も含めたものが非常に影響する時代の中で、政治が不安定であるというものは物事が前に進んでいかないと、三・二一から

乗り越えた中でも、ようど二年経過した中でも、現場の復旧復興は遅々として進んでいない。これも少なからず決めた影響が大きいのではないかと

うのは、これからの歯科医療は、個々にいろいろなことを仕掛けてもなかなか具現化できない。それならば中でのしっかり共通認識を持つ、意思統一をしていろいろな政策の具現化に取り組んでいこうじゃないかという趣旨で、石井議員とは政策協定を結ばせていただきました。何とかこの難局を私どもは一致団結して乗り越えられないと、なかなか打破できません。そういった意味で、皆様方の絶大な御支援を賜って、石井を前回よりもいい結果で送り出したいと思いますと思っております。それが歯科界に大きな力となると確信しておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございます。

古橋会長初め皆様方に心から感謝を申し上げます。また、平素から連盟の政治活動に対してご理解とご協力を賜っておりますことを、厚く御礼申し上げます。

さて、先生方もご案内のように、昨年の総選挙で、

<p>平成 25 年 1 月 17 日</p> <p>合 意 書</p> <p>日本歯科技工士連盟と第 23 回参議院議員通常選挙比例代表選出議員選挙候補予定者である石井みどりは、歯科医療の未来構築のため、歯科三団体政策協定書及び日本歯科医師連盟と日本歯科技工士連盟が取り交わした覚書の内容について政策的に推進させることで合意する。</p> <p>第 23 回参議院議員通常選挙 比例代表選出議員選挙候補予定者 石井みどり</p> <p>日本歯科技工士連盟 会長 古橋博</p>	<p>平成 24 年 10 月 12 日</p> <p>覚 書</p> <p>別途定めた歯科三団体政策協定書の他に、以下のとおり覚書を締結する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>歯科医療の提供体制を安定的に維持するため、歯科技工経済と歯科技工士の労働環境の改善を図る。</li> <li>歯科技工指示書の発行、委託先の明確化に係る根拠規定に関する法改正の必要性については、省令改正後の実施状況も踏まえ引き続き検討する。</li> </ol> <p>日本歯科医師連盟 会長 高木幹正</p> <p>日本歯科技工士連盟 会長 古橋博</p>	<p>自民党が再度政権の座に就きました。そして昨年八月には三党合意という形で社会保障と税の一体改革が成立いたしました。そのような状況の中で、今、安倍政権は経済の再生成長を第一優先政策として、いわゆるアベノミクス、金融緩和、機動的財政の出動、さらには成長戦略といった形で政策を打ち出しております。</p> <p>とりわけ成長戦略の中で、我々医療関係者は非常に心配していることがございます。経済財政諮問会議が復活しております。もう一つは産業競争力会議というものが、医療産業に関して推進していくというものが入っております。そして三つの規制改革会議です。これは混合診療を初め、いろいろな我々に関係することが話し合われております。</p> <p>加えて、昨日、TPPへの交渉参加を安倍総理が表明されました。これに関しても、先般、安倍総理のところにお邪魔したとき夫だというお話がございました。ただ私は、このTPPというのはアジア太平洋地域の経済圏の自由貿易の地域だけでなく、安全保障問題だけでなく、安全保障という面が入っていると思っております。そうするとアメリカのまさに戦略的なものがここに入って来ている中で、ダイレクトには医療保険制度には入ってこないだろう。ただ間接的に、民間保険や企業が医療保険に参画してくる。それから混合診療ですね。じわりと影響してくる。そしてそれがアリの一穴になりはしないかということ、私は非常に懸念しております。医療界にとっては非常に不安定な時期でございます。そういう時期の中で、歯科界はどうか。歯科界</p> <p>はご承知のように環境が非かと思っております。そういった意味でも、今回二期目を</p> <p>今回は歯科三団体、歯科技工士の皆様、あるいは歯科衛生士会の皆様を含めて政策協定というものを果たしていかないと、やはり政治が安定しないと、どうしても国際的な地位も低下してきます。今は一</p> <p>国で全てが収まるような時代ではない。グローバル化の中で世界的情勢、経済情勢も含めたものが非常に影響する時代の中で、政治が不安定であるというものは物事が前に進んでいかないと、三・二一から</p> <p>乗り越えた中でも、ようど二年経過した中でも、現場の復旧復興は遅々として進んでいない。これも少なからず決めた影響が大きいのではないかと</p> <p>うのは、これからの歯科医療は、個々にいろいろなことを仕掛けてもなかなか具現化できない。それならば中でのしっかり共通認識を持つ、意思統一をしていろいろな政策の具現化に取り組んでいこうじゃないかという趣旨で、石井議員とは政策協定を結ばせていただきました。何とかこの難局を私どもは一致団結して乗り越えられないと、なかなか打破できません。そういった意味で、皆様方の絶大な御支援を賜って、石井を前回よりもいい結果で送り出したいと思いますと思っております。それが歯科界に大きな力となると確信しておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございます。</p>
---	---	--